

第76回新型コロナウイルスに関わる対策本部会議議事録

1 開催日時 令和4年8月29日(月) 午後4時00分～午後4時23分

2 開催場所 浦安市役所 災害対策本部室

3 出席者

本部長：市長

副本部長：両副市長

本部長：危機管理監、消防長、教育長、総務部長、企画部長、財務部長、
市民経済部長、福祉部長、健康こども部長、環境部長、都市政策部長、都市整備部長、
教育総務部長、生涯学習部長、会計管理者、議会事務局長、監査委員事務局長、選挙管理
委員会事務局長

(事務局)

健康こども部、総務部

4 議題

- (1) 状況報告(感染者の状況)
- (2) 「BA.5対策強化宣言」に伴う協力要請等の延長について
- (3) 本市の公共施設等の対応について
- (4) その他
 - ・新型コロナワクチンの接種状況について
 - ・ファイザー製ワクチンについて
 - ・抗原検査キット使用状況について

5 議題の概要

- (1) 状況報告(感染者の状況)し、感染者の情報を共有した。
- (2) 「BA.5対策強化宣言」に伴う協力要請等の延長について情報を共有した。
- (3) 本市の公共施設等の対応について情報を共有した。
- (4) その他
 - ・新型コロナワクチンの接種状況について情報を共有した。
 - ・ファイザー製ワクチンについて情報を共有した。
 - ・抗原検査キット使用状況について情報を共有した。

6 会議経過

(1) 状況報告

本部員：直近7日間10万人あたりでは、8月29日現在の市の感染者数は705.3人、市川市686.6人となっている。8月28日現在で船橋市920.8人、江戸川区787.1人、千葉県744.6人、東京都が982.8人となっている。浦安市・市川市は増加傾向であるが、陽性者登録センターの登録者で、東京都に登録されていた人数が本来の市・区に登録されているものと考えられる。船橋市などの自治体では若干の減少傾向であるが、依然高止まりしている状況である。グラフで確認すると、浦安市は増加しているが、東京都・千葉県の感染者数は減少傾向にある。直近3週間の学校等の感染者数は、保育・幼稚園等225人、小学校174人、中学校92人。前週と比較して保育・幼稚園では高止まりの状況、小中学校は若干の増加となっている。8月6日～12日は179人、8月13日～19日は189人と若干増加傾向にある。

本部長：ほかに何かあるか。

本部員：職員の感染状況はほぼ横ばいである。

本部長：職員についても多くの感染報告が上がってきている状況であるため、予断を許さず対応してほしい。

(2) 「BA. 5対策強化宣言」に伴う協力要請等の延長について

本部員：本日千葉県で開催された本部会議の資料について説明する。直近の新規感染者数は宣言開始時より減少してはいるが、高い感染レベルが継続している。病床使用率は64.9%と、国が宣言の目安としている50%を超えて推移し、医療提供体制への負荷が高い状況が続いているため、BA. 5対策強化宣言の期間を9月30日まで延長することが示された。また、県民への協力要請の内容として、「無症状者が感染に不安を感じる等により検査を受ける場合は、医療機関を受診するのではなく県が実施している無料検査等を利用すること」が新たに追加されている。続いて、新型コロナウイルス感染症の無料検査の実施について、高齢者施設・医療機関での面会や帰省、県民割等の割引サービスを受けるにあたり陰性証明が必要になる場合、これまでは国のワクチン検査パッケージ対象者全員検査等定着促進事業(以下「定着促進事業」)による無料検査を市内薬局で実施していたが、この定着促進事業を8月31日に終了

し、新たに感染拡大傾向時の一般検査事業（以下「一般検査事業」）を開始するものとする。一般検査事業は、自身は無症状かつ濃厚接触者ではないが、職場等に感染者がいて不安を感じている方などに対して無料検査を実施する事業である。検査は定着促進事業と同様、市内薬局で実施できる。国の新型インフルエンザ対策特別措置法第24条9項に基づくものであるため、定着促進事業の対象者もこれまで同様無料の検査を実施できる。一般検査事業の実施期間は9月1日から9月30日までとなる。続いて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について、症状がなく県民割等の観光需要喚起策を利用するにあたり陰性証明を必要とする人や、症状がなく感染リスクが高い環境にある等の理由により感染の不安を抱えている人、あらかじめ感染不安を解消しておきたい事情がある人に対して無料の検査を行うということが示されている。なお、千葉県からの意見照会に対しては、BA.5対策強化宣言を行うことは妥当であるが、高齢者や基礎疾患を有する重症化リスクが高い方が適切に医療機関を受診できる体制の強化や陽性者登録センターの対応能力の強化、検査キットの安定的供給の確保などを県が責任もって対策するよう、意見を提出した。

本部長：BA.5対策強化宣言の延長に伴い市の警戒レベルは引き続き黄色とするのでこの場でご承認いただきたい。

（3） 公共施設等の対応について

本部長：公共施設の対応については、県の方針と同様にこれまで通り8月31日までとしていた期限を9月30日までに変更する。

本部長：各部署においては、現在実施している対応をそのまま9月30日まで延長することをお願いする。現在は状況に大きく変化がないので、新しい制限の追加は行わない。

本部長：BA.5対策強化宣言の中で配食サービスを無症状の方や感染の不安がある方に対して実施していたが、こちらについても期限を延長したい。

本部長：この期間に実施していた対策については、基本的にすべて延長することとする。

（4） その他

- ・新型コロナワクチンの接種状況について

本部員：8月24日現在の初回接種（1回目・2回目）の状況について、この1週間大きな変化はなく、5歳～11歳で22%、12歳以上で89.5%となっている。3回目接種についても、12歳～17歳で42.7%、18歳以上で75.3%と、大きな変化はない。4回目接種の接種希望数は30,499件であり、65歳以上の接種券配布済み人数の8割程度となっている。なお、今月末に前回接種から5か月を迎える1,500人程度に対して接種券を発送する予定である。

・ファイザー製ワクチンについて

本部員：これまでの新型コロナワクチン接種において、モデルナ製ワクチンは集団接種会場で、ファイザー製ワクチンについては個別の医療機関での接種を行っていたが、国からのファイザー製の供給は6月27日をもって停止されており、以降入荷していない。9月末まで接種会場を確保し予約を受け付けているが、在庫状況を整理したところ、医療機関や高齢者従事者に接種対象を広げた関係もあり、ファイザーのワクチンが不足する可能性がある。新たに1,500人へ接種券を発送するほか、1・2回目接種、3回目接種を控えている方もいる。また、12歳～17歳の3回目接種についてはモデルナ製ワクチンを対象としていないため、これからファイザー製ワクチンを確保する必要がある。

本部長：ファイザー製ワクチンが不足する可能性があるということだが、代替ワクチンとして、今後ノババックス製ワクチンを入荷することになっている。ただし、ノババックス製は4回目接種や子供への接種等への制約があるため、適宜対応してほしい。

・抗原検査キットの使用状況について

本部員：現在1,296キットが危機管理課に残存している。実際に配布した中で、小学校の使用数は186件となっている。まだ残存しているため、引き続き、9月も配布する。

本部長：使用期限はいつまでか。

本部員：6か月間のため、来年の2月までの使用期限となる。

本部長：学校の校外研修等で感染不安がある場合など、必要に応じて使用すること。年末にかけて感染の波が来る可能性があるため、一定数の数は備えておくこと。

7 決定事項

- ・BA. 5 対策強化宣言の延長に伴い、公共施設・老人クラブ会館での一部利用制限や配食支援・検査キットの配布等、現在市で実施している対応について、引き続き9月30日まで延長すること。
- ・BA. 5 対策強化宣言期間中は、警戒レベルは黄色とする。
- ・引き続き感染防止対策の徹底を市民の皆様をお願いします。